

東京開業ワンストップセンターは、会社設立に必要な各種手続きにワンストップで対応する相談窓口です。外国の方の利用者も増えており、今回はそんな起業家の、崔 新涛さんにお話を伺いました。

利用者 リレーインタビュー ……………



中国で育った自分にとっても、東北は心のふるさと

中国で生まれ育った私にとっても、東北はいつでも、心のふるさとのような場所です。東北大学の大学院を卒業後、東北を拠点とする食品の製造と販売をする会社で働き始めました。私は原料の調達など、中国と日本を行き来する生活でしたが、東北は、帰ってくればいつもあたたかく迎えてくれる、特別な場所です。

2011年の震災の時を、ありありと覚えています。新人の時に毎日を過ごした、志津川の工場が津波で流されてしまったんです。工場も、自分の寮も、津波に巻き込まれてしまいました。幸い、私は震災の前日にお客さんを連れて、中国へ渡っていたので無事でしたが、工場のあった志津川ではたくさんの方が亡くなりました。今でも、東日本大震災のビデオがテレビで流れると、冷静な気持ちで見ることができません。

その震災があってから、西日本で作られた他の会社の商品を中国へ輸出したり、会社はビジネスの転換をせざるをえない状況に。しかし、努力の甲斐もあって、今でも会社はしっかりと東北に根を下ろしています。震災の前からも強かった、東北や日本に恩返しをしたいという気持ちは、震災を乗り越えてから、より大事なものになりました。

日本と中国をつなげるビジネスを作りたい

仕事にはやりがいを感じていましたが、中国と日本を忙しく移動する生活を変え、日本にいる家族と、ゆっくりと暮らせる仕事を始めたいと思ったんです。それも、今までにない、日本と中国を結びつけるような仕事です。

目をつけていたのは、中国の爆買の観光ブームが終息し、徐々に増えてきた、健康や美容を求めて日本にやってくる観光客の人達。ただ、中国人が個人で日本の病院や美容サービスを受けにやってくる、言葉が分からず、苦労することが大きなネックでした。

そういったニーズに応えるために考えたのが、健康の旅のための情報プラットフォーム「越境医療プラットフォーム」と、医療機関への連絡と予約を代行するウェブサービス「天空橋」です。「越境医療プラットフォーム」のサービス開始はもう少し後になりますが、「天空橋」は間もなくサービスを開始する予定です。

信用のおける情報源となる「越境医療プラットフォーム」と、日本での医療機関とのコンタクトをサポートしてくれる「天空橋」が、日本での健康・美容トラベラーの大きな助けになるはず。



中国の山東省出身。1997年に日本に渡り2004年には東北大学大学院を経営学で卒業。東北に拠点をもち食品製造・販売会社に14年間従事。東日本大震災では工場が津波で流されてしまい、事業の立て直しに尽力。2018年に会社を退社し、2019年4月、株式会社Kireiを創業した

東京開業ワンストップセンター(TOSBEC)を使いながら、日本に恩返しをしたい

私は日本で20年以上暮らしていますが、それでも起業に関連する文書はどれも難しく、オンラインで調べていても、よく分かりません。

TOSBECを使ったのは、たまたま参加したセミナーがTOSBECの主催者だったからですが、真摯にサポートをしてくれました。

手続きの書類を作ると、相談員の先生が日本語の言い回しまで一緒に直してくれました。私が難しい顔をしていると、みなさん簡単な言葉に直して説明してくれるので、起業の難しい言葉の壁を乗り越えることができたのだと思います。

この起業の時でさえ、日本人達は、自分を助けてくれた。

今度は、起業した会社を使って、自分が恩返しをする時だと思っています。



私からのワンポイントアドバイス

起業で一番大変なのは、起業について学ぶ時も、書類を作るときにもネックになる難しい言葉の言い回し。インターネットで情報を集めるよりも、TOSBECで直接先生から優しい言葉で教えてもらうことをお勧めします。

相談体験会を随時開催しています。参加者募集中！ **誰でも無料でご利用いただけます！**

【東京開業ワンストップセンター】

住所：東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル 日本貿易振興機構(ジェトロ)本部7階

電話：03-3582-8352 FAX：03-5561-4123

URL：<http://www.senryaku.metro.tokyo.jp/onestop/japanese/top/>